

の左右に切り込みを入れたもの。

009型式

長方形の材の一端を羽子板の柄状にしているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。

010型式

長方形の材の一端を尖らせたもの。

011型式

長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損。

012型式

用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

013型式

用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

014型式

折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

015型式

削屑。

なお、中世・近世の木簡については、以上の型式番号に適合しないものが多いので、註記を省略する場合がある。

一、この凡例は木簡出土事例報告に関するものであり、論文などにおいては、必ずしもこれを用いるものではない。

一、英文目次は天理大学のW・エドワーズ氏にお願いした。

木簡学会役員（二〇〇三・二〇〇四年度）

会長		副会長		委員		監事		幹事	
佐藤	宗諱	鎌田	元一	石上	英一	坂上	康俊	館野	和己
西山	良平	山中	敏史	和田	萃	綾村	宏	市	大樹
鈴木	景二	西村	さとみ	古尾谷	知浩	横内	裕人	吉江	崇
田辺	征夫	今泉	隆雄	佐藤	信	寺崎	保広	土橋	誠
小川	昌二	田熊	清彦	山中	章	吉川	真司	鷺森	浩幸
鶴見	泰寿	馬場	基	山本	崇	岩宮	隆司	竹内	亮
野尻	忠	増渕	徹	吉江	崇	渡辺	晃宏	東野	治之
吉川	真司	鷺森	浩幸	鶴見	泰寿	馬場	基	山本	崇